

I. 保健医療の調査研究事業

① 脳血管障害に関する調査臨床研究

大田慎三

大田慎三医師の脳血管内治療を主とする研究の学会発表、および誌上発表を予定。

“Contrast medium free stenting technique for ostial stenosis of the extracranial vertebral artery - Technical Note -“ INR での発表を進める。

→ Shinzo Ota, Yoshinobu Sekihara, Takahiro Himeno, Yasue Tanaka and Tatsuya Ohtonari. Contrast-less stent placement for vertebral artery origin stenosis. INR (Interventional Neuroradiology). 2017, Vol. 23(1) 79-83. に掲載。(別配布資料 PDF 参照)

② 脳過敏症に関する臨床研究—効果的なバイオマーカーの調査研究

大田浩右 小林奈美

→ 大田浩右、大島恵美、武内ゆり、柳静香、安平浩子、中川多恵子、小林奈美。脳過敏症のバイオマーカーとしてのオージオグラム。第一報:脳過敏症患者のオージオグラムの特徴。福山医学祭(ポスター発表)。2016年11月27日。福山市医師会館。として成果を発表。2016年度優秀発表賞受賞。(抄録 別添配布資料参照)引き続き、継続。

③ メディカル・カウンセリング技法の検討

小林奈美

不定愁訴の患者支援としての、メディカル・カウンセリングの技法について、実践をとおして検討する。

→ 継続

④ 健康長寿に寄与するアルカロイド薬用植物の効果・安全性を高める栽培方法等に関する調査研究。

大田浩右、小林奈美、中川多恵子

→ 継続

II. 市民健康啓発事業

① 脳過敏症啓発事業

大田浩右、小林奈美

・「脳過敏症」廉価版出版、英語版の作成および Web サイトへの公開

前年度出版した「慢性愁訴の治療革命-脳過敏症」をよりわかりやすく、一般読者向けに書き直し、廉価版を出版する予定。

→ Cephalic hypersensitivity syndrome: A revolutionary approach to healing chronic illness syndrome. Kosuke Oota, DMSc. 2016年3月上梓。Web 公開中。廉価版については、次年度事業の一般向けの著作として継続。

・脳過敏症ホットライン無料相談

中川多恵子

継続事業。今後、より多くの方に利用してもらえよう、Web 上への相談症例掲載など、引き続き啓発活動を行っていく。

→ 継続

② がん治療に関する一般読者向け書籍の出版

大田浩右

「余命半年 ステージ 4 からの脱出」で公開していたがん治療に関する情報を、加筆修正し、ハンドブックを出版準備中。

→ 時空出版(東京)より、2017 年夏頃に出版予定。現在、編集中。

③ 死体腎移植に関する一般読者向け書籍の執筆

小林奈美 大田浩右

大田記念病院として協力した死体腎移植の黎明期から、最近話題の病気腎移植に至る、日本の死体腎移植をめぐる諸問題について論点を整理する。平成 28 年秋に出版予定。

→ 継続。2017 年中に原稿完成、2018 年 3 月頃出版予定。

④ 市民公開講座 虹の会 大田浩右

11 月 23 日、福山ニューキャッスルホテルにおいて、第 28 回虹の会を開催予定。昨年度同様、大田浩右先生のお話と、若手音楽家らによるコンサートを企画。市民公開講座として共催する。

→ 本年度は開催見送りとなった。

⑤ 大田慎三著. 人に優しい脳血管内治療(2008 年.福山通運渋谷長寿健康財団発行)、同、脳動脈瘤コイリング技術(2014 年. 渋谷長寿健康財団発行)の全文英訳作業が完了。

Ⅲ. 保健医療・福祉の顕彰事業

① 澁谷昇賞

第 5 回澁谷昇賞の顕彰候補者選定作業を行う。

→ 候補者を検討した結果、本年度は見送りとなった。